

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

自然を愛し，自然に学ぶ

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(Please use extra sheets if necessary)

Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校の周囲にはミカン畑や水田が広がり，近くにはホタルの舞う川がある。また，伝統的な生活様式や遊びを子供たちに伝えてくれる協力的な地域住民も多い。本校では，こうした恵まれた環境を生かして，「自然を愛し，自然に学ぶ」をキーワードに様々な教育活動を展開し，持続発展可能な社会づくりの担い手となる豊かな人間性をもった人材を育む教育を推進している。

学校の敷地内にミカン園とホタルを飼育するビオトープがあり，近くには農家から借用している水田もある。こうした施設を活用して，ミカン，ホタル，稲作を総合的な学習の時間の題材として教育課程に位置づけて取り組んでいる。また，1982年から地域住民を講師に招き，伝統遊びにふれる会（民芸教室）を学校行事として開催している。こうした活動に加えて，すべての児童が菊を育て（菊の一人一鉢栽培），学校内に飾ったり，地域の行事に展示したりしている。

谷川小学校だからできる，こうした体験と地域との交流を多く取り入れた活動を継続していくことで，自然を愛し地域や人を大切にする心，すなわち豊かな人間性をもつ社会の担い手が育成できると考えている。

Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校の取り組みの目標は以下のとおりである。

- 1 ミカン栽培を通して地域の特色を知る活動（3年生）
 - ・ミカン農家との交流を通して地域の産業に関心をもつ。
 - ・ミカンの栽培について知識を深める。
 - ・獲得した情報を発信する技能を習得する。
- 2 ホタルの飼育を通して環境問題を考える活動（4年生）
 - ・ホタルの生態やホタルが生育できる環境について知識を深める。
 - ・地域の豊かな自然を愛し大切にしていきたい意識を育てる。
 - ・獲得した情報を整理し発信する技能を習得する。
 - ・ホタル保護活動を通して地域に貢献する経験を積む。
- 3 稲作体験を通して農業や食について考える活動（5年生）
 - ・日本人の食を支える稲作について関心を高める。
 - ・食糧問題を考えるきっかけにする。
 - ・獲得した情報を整理し発信する技能を習得する。
 - ・地域の人々に感謝の気持ちをもつ。

- 4 伝統遊びにふれたり、菊を育てたりして地域に親しむ活動（全校：民芸教室，一人一鉢菊栽培）
- ・地域の素材を使った遊びや菊の栽培を経験し，伝統を継承する。
 - ・地域住民との交流を通して相互理解を深め，地域への愛着をもつ。
 - ・地域の人々に感謝の気持ちをもつ。

Execution (プロジェクトの実施)

「自然を愛し，自然に学ぶ」をキーワードに，前述した4つの活動でESDに取り組んでいく。そのために，季節や地域の人々の生活リズムに沿った学習計画(ESDカレンダー)を立てて全校で共有し他学年，他教科とも関連を図りながら取り組む。

谷川 ESD カレンダー

プロジェクト	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年生	ミカン栽培を通して地域の特色を知る活動	晩柑類収穫	剪定について学習	摘果について学習 施肥			施肥	温州ミカン収穫	施肥	発表準備	全校集会で学習成果を発表	
4年生	ホタル飼育を通して環境問題を考える活動	ホタルの習性について学習	親ホタル捕獲	ピオトープで産卵 幼虫観察	観察と飼育	観察と飼育 半尻川の水質調査	観察と飼育	観察と飼育	川へ放流	発表準備	全校集会で学習成果を発表	地域住民へ成果を発表
5年生	稲作体験を通して農業や食について考える活動	田植え	育て方について学習	野外教育活動で前年度の米を食料として利用			稲刈り・脱穀について学習			発表準備 感謝の会	民芸教室で五平餅にして食べる 地域の方と会食	
学校	伝統遊びにふれたり菊を育てたりして地域に親しむ活動	全員が菊の栽培に取り組む			菊を家庭に持ちかえって育てる		地域の文化祭に菊の鉢植えを出品	自治会との打ち合わせ①	材料集め	自治会、関係組織との打ち合わせ②	民芸教室 伝統遊びにふれる会	

以下，それぞれの取り組みを具体的に示す。

1 ミカン栽培を通して地域の特色を知る活動（3年生）



地域に住むミカン農家の指導を受けながら活動



学習したことを全校児童に発表

2 ホタルの飼育を通して環境問題を考える活動（4年生）



半尻川でカワニナ（ホタルの幼虫のエサ） 捕り



ホタル園（ビオトープ）でホタルの飼育

3 稲作体験を通して農業や食について考える活動（5年生）



手による田植え作業（地域の方の指導のもとで）



稲刈り作業（機械による効率化を実感）

4 伝統遊びにふれたり、菊を育てたりして地域に親しむ活動（全校：民芸教室，一人一鉢菊栽培）



お年寄りに昔の遊びを習う低学年児童



お年寄りに昔の遊び道具作りを習う高学年児童



菊博士と苗を鉢に植えつける児童



半年間世話をして満開になった菊

Type of materials to be used (使用する教材)

1 全般

- 書籍 「豊橋市制施行 100 周年記念 校区のあゆみ 谷川」 豊橋市総代会 2006
「豊橋市教育振興基本計画」 豊橋市教育委員会 2011

2 ミカン

- 施設 校内ミカン園(温州ミカン 18 本, 甘夏みかん 21 本, きよみ 3 本, ネーブル 1 本)
教具 収穫はさみ, 収穫かご

3 ホタル

- 設備 校内ビオトープ(ろ過装置, 冷却装置, エアーポンプ), 顕微鏡, 採集網, 産卵箱
書籍 「多賀谷式ホタル秘伝の書」多賀谷彌津悦, 図書室の蔵書

4 稲作

- 施設 借用した水田 約 50 m², 中庭のミニ水田
教具 鎌, 耕運機, 稲刈り機, 脱穀機

5 民芸教室

- 教材 じゅず玉, 竹, 針金, 炭, 米, 空き缶, おはじき, ビー玉
道具 ナイフ, のこぎり, 裁縫セット

Is there any type evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

1 評価の観点

持続発展可能な社会の担い手となるために必要な知識

- ・地域の農業に関する知識
- ・河川環境に関する知識
- ・稲作に関する知識
- ・地域の伝統に関する知識
- ・菊の栽培に関する知識

持続発展可能な社会の担い手となるために必要な技能

- ・獲得した情報を分析し整理する技能
- ・わかりやすく他者に伝える技能

持続発展可能な社会の担い手となるために必要な態度

- ・自然を大切にする態度
- ・他者を尊重し協力しようとする態度

- ・習得した知識や技能を生活に生かす態度

2 評価の材料及び方法

次の方法を組み合わせて多角的に評価する

- ・児童の活動の様子(指導者による観察)
- ・学習後のワークシートや感想, 自己評価
- ・児童の作品

3 評価の時期と活用

毎回の活動時間後に評価を行い蓄積する。前期末と学年末にはその時点での評価結果を文章表現で保護者に知らせる。さらに学年末には、このプロジェクトを含むすべての教育活動について、保護者を対象にアンケート調査をし、学校評議員の評価も参考に、プロジェクトを見直し改善につなげる。

On behalf of institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコ ASP の参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそって ASP に貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年 ASP コーディネーターに活動のレポートを提出します。)

14/3/2014

Date

Principal's name

Position Principal

Institution's name

Tanigawa Elementary School